

広島県中小企業団体中央会 2023年5月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲11.9%、前年同月比+19.4%。売上高は前月比▲10.2%、前年同月比+18.3%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

- ・前年同月比では売上は増加したが、原材料や燃料等の価格高騰が影響し利益は減少している。加えて、人件費も上昇し負担になってきている
- ・インバウンド増加により、観光にウエイトを置いた事業者は景気が良くなってきている

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

- ・先月同様、生産・販売はともに低調。資金繰りも厳しくなり、どのように資金調達をしていくかが重要なテーマになると考えられる
- ・今後の見通しが立たない状態が続いている。現状では、品質・納期管理をしっかりと対応することが必要と思われる

山陽テクノ協同組合

業界全体が深刻な人手不足に悩まされている。

広島県アパレル工業組合

燃料代等の値上げにより厳しい状況が続いている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和5年4月の着工戸数は67,250戸で前年同月比▲11.9%、季節調整済年率換算値では771千戸(前月比▲12.1%)となった
- ・利用関係別では、持家は18,597戸で前年同月比▲11.6%、貸家は28,685戸で▲2.8%、分譲住宅は19,701戸で▲21.8%、また木造住宅は37,177戸で対前年同月比▲6.3%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が17ヵ月連続となり、分譲住宅の減少が3ヵ月連続、貸家が26ヵ月ぶりに減少した。木造住宅は昨年4月以降13ヵ月連続の減少となっており、今後の動向に注視していく必要がある

【広島県】

- ・4月の着工戸数は1,309戸で、対前年同月比▲31.0%、うち持家は339戸で▲18.1%、貸家は675戸で▲14.4%、分譲は292戸で▲41.8%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比が減少に転じた
- ・木材価格は、丸太、製品ともに少しずつ下降。インフレによる住宅価格の高騰が施主の住宅購入意欲を減退させ、新規受注が進まないことが要因と思われる
- ・今後、住宅の省エネ性能、耐震性能向上、物流費アップなど住宅はさらに高価格化する可能性があり、住宅における木材需要の先行きは厳しいことが想定される

福山木材協同組合

着工数が低い水準のまま増加せず、売上高や収益状況も悪化傾向にある。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業界全体は、中々明るい兆しが見えないが、提供するサービスを見つめ直し磨き上げ価値を高めて行きたい。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

売上高や収益状況ともに、先月と比較しほぼ変化は無い。自動車の生産が回復しても、納期が長引き、サブスタやカーシェアに流れてしまうリスクがある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

当月は、G7広島サミット開催により、生産数・稼働日数が減少した。また、諸材料・電気代の高騰分を、価格転嫁に反映することができず、事業採算を大きく圧迫している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和5年05月 2, 124 m³ (対前年比86.8%)

令和5年04月 2, 419 m³

令和4年05月 2, 446 m³

・令和5年度想定数量

800, 000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

・5月は操業日数が少ないため、売上高は対前月比では減少するも、対前年同月比では増加

・基本的に底堅い需要が続いており、仕事がこなしきれない状況だが、外注応援を求めようとしても忙しく適当な受注先が無い

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+30%、前年同月比は+20%となった。スポット受注と出荷時期の月互りが増加の要因と考えられる。また、日工会が発表する4月工作機械受注実績は前年同月比▲14.4%の1,326億8,800万円と4ヶ月連続の減少となった。2ヵ月ぶりに1,400億円を下回ったが、1,000億円超は2ヵ月連続で、期末効果の反動減があるも堅調水準を維持している。また、工作機械の需給は調整局面にあり、業界は慎重姿勢となっている。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲10%、前年同月比▲15%となった。中国の生産が復調傾向にあり、日本国内の生産量の減少をもたらしているが、まだ一時的な動きであり中長期的には特に下降傾向とはいえない。また、半導体の納期遅延が生産の足かせになる傾向は依然としてある。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は半導体の供給問題はほぼ改善され、G7広島サミットでの影響とモデルの切り替え(CX-90/60 Mazda3等)の影響で6月までは生産台数は前年比微減。しかしながら、全体的には市場の需要は大きくなり、正常な生産水準に戻りつつある。

(5月度 自動車 国内販売動向)

全需は327千台、前年同月比+25.0%と9ヶ月連続で増加。登録車は+28.1%、軽自動車は+20.0%と共に増加となった。マツダ車は+109.4%の大幅増加(前年度は半導体供給難で大幅減産だったため)、内訳としては登録車+169.5%(9.0千台)、軽自動車+22.1%(2.8千台)である。

(4月度 自動車 海外販売動向)

・アメリカの全需は、1,361千台で、前年同月比+8.4%と9ヶ月連続で増加。マツダは+7.5%と、前年同月を6ヶ月連続で上回る結果となった

・欧州の全需は、1,036千台で、前年同月比+13.9%と8ヶ月連続で増加。マツダは+11.7%と前年同月を5ヶ月連続で増加

・中国の全需は、2,159千台で、前年同月比+82.5%と3ヶ月連続で増加。マツダは▲11.8%と25ヶ月連続で前年割れとなった

・マツダの4月の海外販売は、欧米では回復傾向にあるが、中国やタイなどアジアの主要市場で苦戦しており、合計台数は76.2千台、前年同月比▲2.5%となった

(4月度 自動車 輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+100.4%と4ヶ月連続で増加。国内生産台数は、前年同月比+26.9%と回復基調にある。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年4月の船舶建造許可実績は5隻、157,740総トンであった。（前月3隻86,250総トン。前年同月4隻87,350総トン）なお、内訳は輸出船が5隻で、貨物船であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・コロナ沈静化、人流増加に伴い食品卸売は改善基調、国内外の部材供給の正常化、設備投資の回復から機械器具等資材販売も改善傾向にある
- ・業況回復の中、手元資金増強を目的に調達したコロナ関連融資の借入圧縮を図っている企業が見られる一方で、返済緩和の長期継続を余儀なくされている企業も多く存在するなど二極化の構図が見受けられる

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2023年度補助金において、脱炭素化を積極推進する中、我々電材業界に関する補助金も多く、需要への追い風になる見込み。

●卸売業（昼・敷物）

広島県菌製品商業協同組合

- ・5月実績は、前年対比で99.4%。内訳はびんご特撰が98.1%、JAS表が99.8%であった
- ・梅雨の時期になればさらなる販売量の減少が予想され、明るい兆しが見えない状況である

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

新型コロナウイルス感染拡大防止のための規制などが無くなり、徐々に活気が戻ってきており、一時的に売上が向上したが、再び減少傾向にある。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・市場水産部の取扱高は、前年を若干上回る。外国人を中心に、観光需要の回復を始め、経済活動が活発化する中、G7広島サミット後の観光需要の更なる高まりへの対応が課題となる
- ・地場鮮魚の入荷量低迷が常態化して、今後の回復も期待できず、業界全体として、同業他社との差別化が以前にも増して難しくなっている
- ・市場青果部の取扱高は、今後も横ばいの状況が続くと予想される。納入業者は需要が回復してきたが、小売業者は相次ぐ食品値上げから消費者の節約志向が高まっているため、売上の伸びは鈍い
- ・水道光熱費・燃料費等の高騰の中で賃上げ等を行う余裕がないとの声が多い
- ・人手不足、原材料高、物流コスト上昇など経営課題は山積みで、価格転嫁しづらい状況もあり、収益悪化が引き続き懸念される

協同組合三次ショッピングセンター

売上、客数ともに前年並みである。売上げの9割以上は固定客という状況のなか、売上増に向けて新たな顧客の拡大が課題となっており試行錯誤している。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

- ・令和5年5月度販売実績91%（前年同月比）。AV商品88%、白物商品93%、薄型テレビ85%（内有機EL100%）、DVD63%、冷蔵庫79%、洗濯機114%、IHクッキングヒーター97%、エコキュート72%、エアコン89%、炊飯器99%、電子レンジ95%、掃除機104%。家電商品全体で、前年割れとなった
- ・福山市の省エネ商品購入に対する補助金は、5/10で予算に達し申請受付終了。開始10日の予算枠超えの施策は、問題があると思われる

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

政府の燃料油激変緩和対策事業により、このところ販売価格はある程度安定している。GW期間終了後、広島市内のサービスステーションを中心にG7広島サミットの交通規制等による交通量の激減により、一時的に来店客数、売上ともに大きく減少したとの声が多く聞かれる。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

- ・来賓を招き、間仕切りなどのないコロナ以前の形式で各種行事を開催することができている
- ・広島銀行呉支店では、G7広島サミットの開催に向けて、5/9に行員15名が参加して、本通商店街の歩道（店舗周辺）の清掃活動を実施した

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲20.5%、前年比▲8.9%
- ・車検場収入は、前月比▲18.6%、前年比▲7.7%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲9.2%、前年比▲14%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

全体の売上は増加したが、事業者ごとの受注量はバラツキがある。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

- ・約2年続いた電子部品の入手難はほぼ解消した
- ・今年度に入り、ユーザー企業（個人含む）の保守契約取りやめ（廃業や業務停止等による）が例年になく目立つ
- ・昨年度に比べ、お客様から見積に対してシビアな対応をされることが多く、具体的には、人件費や光熱費の高騰から見積価格を上げたことに対して、今までの実績値からかけ離れていて発注できないと言われる機会が多い
- ・行政が最低賃金引き上げを示し、各事業者が対応しているにもかかわらず、官公庁からの入札価格はどんどんシビアになっている。入札価格についても人件費を上げて、諸経費の掛け率を上げるべきだと考える

●警備業

広島県警備業協同組合

売上高は前月比で減少。仕事量が減少したと感じている事業者もいる。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

- ・カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比▲34.7%、前年同月比+31%となった。前月比減少の要因はG7広島サミット開催による実働日数減によるものと思われる
- ・今年度はあまり大きな物件はなく、小規模案件が大変を占めている

福山地区電気工事業協同組合

5月分の受付件数は290件となり前年同月比98%とほぼ同数となった。

神辺建設業協同組合

物価上昇の影響が顕著である。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・5月の売上高は、対前月比、対前年同月比とも減少した
- ・G7広島サミット開催による物流規制や工場の稼働停止などが主な減少要因となった
- ・軽油価格は産油国の減産や政府の補助金減額などが要因となり、70銭の値上げとなった

松永地区トラック事業協同組合

- ・5月の売上高は、対前月比、対前年同月比では変化はなかった。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことで荷動きが活発になるのではと期待していたが、中旬以降も思ったほど荷物が動かなかった
- ・5月は毎年、GWにより稼働日が少なくなるが、今年はさらにG7広島サミットの影響もあり、売上高は伸びていない。また、収益状況は、燃料価格の高止まりにより改善の兆しは全く見えない

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

G7広島サミット開催により、得意先の休業が重なり売上高は減少となった。業界の景況感はやや悪いまま回復の見通しが立たない厳しい状況が続いている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・5月までは3年に一度の固定資産評価があったが、今年度はその作業が無い分収入は減少する見込み
- ・不動産市場については、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、マンション販売については、近時新築マンションの建築・販売が増えている。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している